

常陸大宮市教育委員会 5月定例会議事録

- 1 会議の名称 常陸大宮市教育委員会 5月定例会
- 2 開催日 令和8年5月25日(月) 午前10時00分から
午前11時36分まで
- 3 開催場所 常陸大宮市役所 行政委員会室
- 4 出席者
 - (1) 教育長 小野 司寿男
 - 教育長職務代理者 橋本 勇夫
 - 委員 宮本 亜希子
 - 委員 菊池 久義
 - 委員 楠 加代子
 - (2) 事務局及び説明者
 - 教育部長 小室 修
 - 学校教育課長 小泉 博美
 - 生涯学習課長 高橋 誠二
 - 文化スポーツ課長 戸澤 睦
 - 指導室長 阿部 倫子
 - 学校教育課課長補佐 相田 英樹
 - 学校教育課主幹 梶山 明日香
- 5 報告
報告第12号 教育長報告について
- 6 議案
 - 議案第31号 議会の議決を経るべき事件の議案の意見の申出について
 - 議案第32号 専決処分の承認を求めることについて(常陸大宮市立図書館協議会委員の任命について)
 - 議案第33号 専決処分の承認を求めることについて(常陸大宮市社会教育委員の委嘱について)
 - 議案第34号 専決処分の承認を求めることについて(常陸大宮市義務教育施設適正配置審議会委員の委嘱について)
 - 議案第35号 令和8年度就学援助費支給額等の決定について
 - 議案第36号 令和9年度に常陸大宮市立小・中学校で使用する教科用図書

択に関する基本方針の制定について

7 その他

- (1) 各課及び教育委員の行事予定について
- (2) 常陸大宮市史編さん審議会委員の名簿について
- (3) その他

8 次回の定例会日程について

9 閉 会

10 傍聴人の人数 4人

11 会議の概要

小野教育長 本日の会議に4人の傍聴希望者がおりますので、報告いたします。

傍聴人の方は、注意事項を守って傍聴をお願いいたします。

本日の出席委員は全員です。

ただ今より、常陸大宮市教育委員会5月定例会を開会いたします。

(午前10時00分開会)

小野教育長 本日の議事録署名人の指名を行います。

議事録署名人に橋本勇夫委員を指名いたします。

本日の会議日程は、お配りした会議資料のとおりです。

それでは議事に入ります。

はじめに、「日程2 報告」を議題といたします。

報告第12号 教育長報告となりますので、私の方から報告いたします。

学期が始まりまして2か月が終わろうとしておりますが、まず最初に1か月間の教育委員会関係の大きな行事・行ったこととお話ししたいと思います。

5月14日、15日に全国都市教育長協議会が四国の高知県高知市で開催されました。全国の教育長さんたちが集まる場所なんですけれども、そこで文科省から、これからの1年間の方向づけの協議資料が配られまして、それに関連した研究発表とかがありました。教育委員会分もありますので、もし必要などところと

か調べたいなというものがありましたら、お声がけいただきたいと思います。全国から集まってくる教育長さんも同じような条件の自治体の方が多くて、人がいない、金が無い、先生もいない、どうするんだっていう人たちがいろんなところから出てきて、うちはこのことをやっているんだよと。全部が共有できるものではないんですけども、皆の発想とか着眼点とか非常に素晴らしいなと思うものがあって、そういったものもいろいろと勉強してまいりました。この県や市の教育長さんはこのことをやっているって話ができればと思っております。

それから5月18日にライオンズクラブから奨学金の寄附がありました。毎年いただいているものなのですが10万円を市長と一緒にいただきました。

21日に学警連の総会があり、今年もスタートします。

それから22日はお世話になりました。水戸市で市町村の教育委員会連合会総会が行われました。

23日の土曜日ですが、11校のうちの10校の小学校で無事運動会が開催されました。大変お世話になりました。朝はちょっと寒かったんですけど、グラウンドも非常に良い状況で、綺麗に湿っていて滑らず。午前中の運動会行事だったんですけども、上野小学校に私はいたんですけど、来賓の方と話をしている、昔のようにみんなが弁当を持って一日、地区の人も参加できる運動会が再会できるといいねという人がいらしたんですけど、PTAの方からは、弁当を作らないで済む午前中の開催は非常に保護者から好評だというご意見もありました。

昨日24日は青少年育成常陸大宮市民会議の常陸大宮市の総会がありまして、参加して話をさせていただきました。

報告は以上なんですけれども、ここ何回かの会議で私はいろいろと思っていることがありまして、校長会や昨日の市民会議に行って触れさせてもらったので、教育委員の皆様にもお話ししたいと思うんですが、臨床心理士の長谷川博一という方がおりまして、岐阜県の臨床心理センターの所長や、大学の教員をやっている

た人なんです、私が県にいたときに子どもホットラインっていう子供の電話相談の担当をされていて、相談員の人たちにこの人の研修をぜひ受けてもらいたいなと思っていましたけれども、なかなか忙しい方で、決して偉ぶった人じゃなくて時間がなくてやっていただけなかったんですが、この人はいわゆる殺人事件や重大事件。例えば、池田小の殺傷事件ですとか、宮崎勤ですとか、ああいう世間を騒がせた、何でこんな人間が育ってしまうんだろうと誰もが疑問に思うことについて。裁判所は量刑を決めるためのものになりつつあるんですけれども、その中でもなぜそうなのか、真実は何なんだということを常に考えて読み解こうとしてきた人で、この人だけ、十数人の凶悪な犯罪者とされている人に面会ができた人なんです。重大犯罪っていうのは、弁護士は面会ができるんですが、その他の人は絶対に会うことができないのがほとんどだそうで、その裁判所に、受刑者の方からも長谷川なら話を聞いても話してもいいよって。荒川沖で連続殺人って言いますか、歩いている人をめった刺しした若い青年が逮捕された茨城県の事件があったんです。収監されていたのが水戸市の拘置所で、この長谷川先生が2回か3回面会に来ると。その合間に講演っていうか、話を聞いてもいいですよということで、2回ほど水戸市の三の丸庁舎に来ていただいて話を伺いました。その人がなぜ私の印象に残っているかっていうと、この本を何度も読み直しているんですが、こういった大変な犯罪を犯す人たちの持っている性格とかは、元々あるものがあるんだけど、結局それが表に出てきたり大きな事件として行動に移されてしまう間には、養育環境の中でどのように扱われてきたかっていうことに大きな割合があるんだと。長谷川先生はこう言っているんですね。被害が加害に転じるメカニズムは、被害を受けている時期に自分が被害者だ。それは嫌だと被害性を正しく認知しないことによって生じやすくなります。自分が被る痛みへの麻痺、つまりその眼差しの欠如が、後に他者への痛みへの共感不良の下地になってしまうっていうことなんですね。要するに、そういう経験をしていくと、そ

れが下地になっていってしまう。非常にショッキングだった話は、一番最初に池田小の宅間守を書いているんですが、誰も自分を同情していると思ったりとか、人を羨んだり、あれが良かったなど言ったことは一度も無い。常に自分を妨害するもので、むしゃくしゃしたときには力と暴力で全てを解決しようとする。そのように脳の中で伝達が出来ちゃっていて、すぐに行動に移す。誰でも良かったんだ。子供もかわいそうだとちょっと思ったけれども、そのときには止まらなかった。でも、その宅間守が1人だけ、あいつはいいよって羨ましいよなって言った人がいる。それは宮崎勤なんです。なぜ羨ましいって言ったかという、宮崎のお父さんって自分の息子がやったことに耐えきれずに自殺して亡くなっているんです。宅間は、自分の子供がやったことに責任を取って、最期まで命で償った。そういう父親だったからいいだろう。自分の父親は自分のことを勘当したまま、もう知らんと、勘当した息子だから関係ないと言って一切その後は関わらなかった。結局あれだけのことをやっていた人間でも、最終的には自分の父親とか親とか。自分に関わってくれていた人がどういうものだったかっていうことについて話している。そういった関わりっていうのは非常に大事なんだということ。世の中は個人が最優先される時代ですので、家庭も崩壊する、夫婦も崩壊する、子供だけが取り残されるということはよくあることです。それを全部受けているのが学校で、学校が最後の砦になっている状況です。校長先生方にお話ししたのは、子供の行動っていうのは何かしら必ず背景というものがあるので、大変な事件や事故を起こす子はいるけれど、事件だけある訳では無い。本来であれば、そこまで行く前に、いろんな子供に関わる大人が、親が駄目だったら、その周りの人間が何とかそういった子供たちに対して認めたり、関わっていくことができることが必要であれば、学校は最後の砦としてそこに力を入れなくちゃならないよねっていう話はしたんですが、物理的に無理な話もありますし、今家庭に言ったら大変ですから。家庭訪問すらまともにできない状況なので。そういったことを背景

にしながらもその中でやる学校教育は、本当に大変だなと思うんですけども。社会的な報道って何か。我々はよく新聞とかを読むんですけど、一方的なものしか読めないのが理由がよく分からない。でもその背景には、これだけのものがあるっていうことも、いつも考えていたいなと立場としては思いました。私のところにありますので、もし興味があったら言ってください。感動する話です。

ただいまの件について、質問があればお願いします。菊池委員どうぞ。

菊池委員　運動会と出たので、私が教育委員になって初めて運動会に出たときは、既に午前中の開催になっていまして、簡略化で私の地域では山方音頭がもう無くて、定例会のときにも話題にしながら、教育委員会の皆さんにも働きかけなどしてもらって、去年が山方小学校で山方音頭を踊ってくれたんですね。地域の方も喜んで年寄りも一緒に踊ることができました。今年出席した山方南小学校も今年から山方音頭を取り入れてくださって、保育園生から保護者、お年寄りの方まで一緒に踊ることができました。踊れた若いお父さんたちは、おそらく小学校で6年間、そして中学校で3年間、合計9年間山方音頭を踊った経験の蓄積があって参加してくださったところがあるかと思うんですね。これまでコロナで途切れてたものが、ようやく3年目になって復活できた。地域の方のよかったという声も聞きましたし、私自身も微笑ましい姿を見て、それぞれの地域で音頭ってあるかと思うんですけども、世代を超えた方々が一緒になって踊っている姿を見ると、地域の一体感とか、子供たちにしてみれば、あの一体感を感じることでふるさとの温かさとかを体感できるでしょうし、郷育立市に繋がるなと思って本当にありがたく思いました。去年は山方小学校に校歌があるといいよねと宿題を出して帰ってきたんですけども、今年出た第二中学校も山方南小学校も入っていて、小学校の1年生も一生懸命歌っている姿を見ることができて、ふるさとの良さを体感・実感するには学校の良さや学校愛があるかと思うので、校歌も今年は聞けてよかったなという思いを一層い

できました。校長先生との食事会で、宮本委員さんと楠委員さんと新しく入った校長先生3人で山方中の校歌を口ずさんでいて、校歌って世代を超えた一体感というか、心と心の触れ合う機会にもなろうかと思って、運動会の中で郷育立市、ふるさとを離れても慈しむ心、郷土で活躍できると市の目標として掲げているので、その反映として、短い半日の活動であっても、校歌や地域の伝統的な音頭を取り入れることが大事だなと思って、温かい良い気持ちで帰れた運動会・体育祭でした。本当にいろいろお世話になりました。ありがとうございました。

小野教育長 ありがとうございました。他にございますか。楠委員どうぞ。

楠委員 菊池委員の話で山方小学校と山方南小学校で校歌が入ったということで、私は今年初めて山方中学校の体育祭に行かせていただいて、中学校ではやらなかったんですね。各学年のダンスで、校歌も中学校は歌いませんでした。せっかくやったものが、中学校でまた無くなってしまうというのは、小中の連携も少し関係しているのかなって考えた次第です。各地域にそれぞれ体育祭、地域の運動会というのがあったと思うんですね。コロナ禍を境にそれが無くなってしまって、私は御前山で、最後に御前山音頭をやったんですけれど、それも無くなってしまって、その代わりによさこいを教えている方がいるので、小学校でそれを最後にやるってということで、地域の文化を引き継いでいるところはあるんですけれども。あと、中学校と小学校の両方に出て感じたのは、学校の先生が一生懸命に頑張っていて、子供たちも少ない中で、座っている時間が無いくらい係とかを頑張っていました。先生方も子供たちもすごいなと思って見ていたんですけれども。来賓で体育祭や運動会に区長さんが来ていました。ただ、区長さんたちは見ているだけで。私の子供の頃って敬老種目が必ずあって、地域の方と一緒にやった種目があったんですけれど、時間の関係でそういうのが無くなってしまったのが、せっかくいらしてくださっているのに、ちょっと寂し

いかなってというのが一つ感じたところですけども、子供たちはとても一生懸命に頑張っていてやっていたのが印象的でした。

それからもう一つ。野口小で立ち上げた「親父会」があって、それを御前山小が引き継いで、かれこれ十年以上になるかと思うんですけど。御前山小のグラウンドって水はけが良くない部分があるんですよ。子供たちがやる部分あまり水はけがよなくて、そこに朝早くから来て、砂をたくさん入れてくれたんですよって校長先生が話をしている。前日や前々日にはテントを「やりますから」ってことで張ってくれた。前の学校から立ち上がっている会がずっと受け継がれてきている良さを私は感じました。

小野教育長 ありがとうございます。その他よろしいでしょうか。

橋本委員 私はその他でお話しします。

小野教育長 分かりました。

続きまして、「日程3 議案」に入ります。

議案第31号 議会の議決を経るべき事件の議案の意見の申出について を議題とします。事務局の説明をお願いします。

小泉学校教育課長 【議案第31号について提案・説明】

小野教育長 説明が終わりました。質問があればお願いいたします。菊池委員どうぞ。

菊池委員 このメーカーは日本のメーカーですか。中国とか。

小泉学校教育課長 台湾でございます。

菊池委員 ありがとうございます。外国だとちょっと不安のある国もあるので、台湾ということで安心しました。

小野教育長 その他ございますか。無いようですので採決に移ります。

議案第31号につきましては、原案のとおり可決することよろしいでしょうか。

各委員 〈異議なし〉

小野教育長 異議なしと認め、議案第31号につきましては、原案のとおり可決といたします。

次に移ります。

議案第32号 専決処分の承認を求めることについて（常陸大宮市立図書館協議会委員の任命について）を議題とします。事務局の説明をお願いします。

高橋生涯学習課長 【議案第32号について提案・説明】

小野教育長 説明が終わりました。質問があればお願いします。

無いようですので採決に移ります。

議案第32号につきましては、原案のとおり承認することよろしいでしょうか。

各委員 〈異議なし〉

小野教育長 異議なしと認め、議案第32号につきましては、原案のとおり承認といたします。

次に移ります。

議案第33号 専決処分の承認を求めることについて（常陸大宮市社会教育委員の委嘱について）を議題とします。事務局の説明をお願いします。

高橋生涯学習課長 【議案第33号について提案・説明】

小野教育長 説明が終わりました。質問があればお願いします。

無いようですので採決に移ります。

議案第33号につきましては、原案のとおり承認することよろしいでしょうか。

各委員 〈異議なし〉

小野教育長 異議なしと認め、議案第33号につきましては、原案のとおり承認と

いたします。

次に移ります。

議案第34号 専決処分の承認を求めることについて（常陸大宮市義務教育施設適正配置審議会委員の委嘱について）を議題とします。事務局の説明をお願いします。

小泉学校教育課長 【議案第34号について提案・説明】

小野教育長 説明が終わりました。質問があればお願いします。

無いようですので採決に移ります。

議案第34号につきましては、原案のとおり承認することよろしいでしょうか。

各委員 〈異議なし〉

小野教育長 異議なしと認め、議案第34号につきましては、原案のとおり承認いたします。

次に移ります。

議案第35号 令和8年度就学援助費支給額等の決定についてを議題とします。事務局の説明をお願いします。

小泉学校教育課長 【議案第35号について提案・説明】

小野教育長 説明が終わりました。質問があればお願いします。

全体を見て、昨年より新入学学用品費はプラスになっていると。マイナスになっている項目は何かありますか。

小泉学校教育課長 無いです。

小野教育長 この他にプラスになってるのは無い。

小泉学校教育課長 新入学学用品費のみが小中学校ともに増えており、学校給食費について小学校は無償化で対象外ということで、その他の金額については全て昨年度と同様です。

菊池委員　私は想像がつかなくて、その場じゃなくていいんですけど、オンライン学習通信費っていうのは、上限1万5千円ということですけども、通常毎日持ち帰って勉強など家庭で使うとすればどのくらいかかるのかなと思って。

小泉学校教育課長　後ほど調べさせていただきます。

橋本委員　通信費はネットですよ。あまりかからないかもしれないと思いますよね。

小野教育長　月毎の契約になると1か月いくらとなつて、これ以上になることはそう無いだろうと私は思うんですけど。橋本委員どうぞ。

橋本委員　校外学習は、宿泊を伴う修学旅行との関係とかもあつて、宿泊を伴わない場合だったら何となく分かるんですけど、宿泊を伴う場合の金額としては非常に少ないような感じがするんですが、どうでしょうかね。

小野教育長　学校教育課長お願いします。

小泉学校教育課長　こちらは費目・金額に関わらず、アルバム代等も以前ありましたが、全額を補助するものではなくて、一部補助という形もあるのかなと考えております。

橋本委員　全額ではないかもしれないけど修学旅行ですとほぼ近い金額になっているんだから、宿泊を伴うものも全額とは言わなくても近い金額を見通してもいいのかなっていう気がして質問していると。

小野教育長　指導室長お願いします。

阿部指導室長　校外活動費の宿泊を伴う場合っていうのは、今までですと「こどもの城」とか宿泊費が安いところなので、多分この金額になっているのかなと思います。逆に修学旅行費で県外に行く場合の費用というのは、ちょっと高額を支給しているのかなと考えます。

橋本委員　宿泊学習的なものが無くなったんですよ。それで中学校区で動いていますから、その辺の金額とは思ったんですけども。今度はまた形が変わるよ

うなことを前回聞いたものですから。以上です。

小野教育長　　そういったものを含めて検討していきたいと。他にございますか。

無いようですので採決に移ります。

議案第35号につきましては、原案のとおり可決することよろしいでしょうか。

各委員　　〈異議なし〉

小野教育長　　異議なしと認め、議案第35号につきましては、原案のとおり可決いたします。

次に移ります。

議案第36号　令和9年度に常陸大宮市立小・中学校で使用する教科用図書
の採択に関する基本方針の制定について　を議題とします。事務局の説明をお願いします。

小泉学校教育課長、阿部指導室長　　【議案第36号について提案・説明】

小野教育長　　説明が終わりました。質問があればお願いします。

無いようですので採決に移ります。

議案第36号につきましては、原案のとおり可決することよろしいでしょうか。

各委員　　〈異議なし〉

小野教育長　　異議なしと認め、議案第36号につきましては、原案のとおり可決いたします。

以上で議案が終了しました。

続きまして、「日程4　その他」に移ります。

(1) 各課及び教育委員の行事予定について、事務局の説明をお願いします。

小泉学校教育課長　外　　【行事予定説明】

小泉学校教育課長　　【教育委員の予定説明】

小野教育長 ただいまの件について、質問があればお願いします。

無いですので、(2) 常陸大宮市史編さん審議会委員の名簿について、事務局の説明をお願いします。

戸澤文化スポーツ課長 【名簿により説明】

小野教育長 ただいまの件について、質問があればお願いします。

無いですので、(3) その他について 事務局又は委員の皆さまから何かありましたらお願いします。橋本委員どうぞ。

橋本委員 先ほどの話と被るんですけど、運動会と体育祭に参加させていただきました。半日には働き方改革とかいろんな意味でなったと思うのですが、まずは曜日の問題。小学校は土曜日なので、中学生も借り物競争に多く参加してくれていました。美和小学校だったんですけども。中学校の様子を見たら、中学生の5月、6月って行事がすごく多いんじゃないかと。先ほどの予定でも陸上があり総体があり、修学旅行3年生もあり。そんな中での体育祭の練習を含めてチームワークを見させてもらったところ、浅く狭くさらっと行事を済ませればいいのかという感覚に見えてしまいました。行事は働き方改革でずいぶん精選はされたと思うんです。その中でやることについては、深く思い出に残る教育活動にしないといけないとすると、春はどうなんだろう。ここで話し合っても学校が判断して決めていくものですから、こういう場から学校に下ろす内容では無いんですが、そういう気がしています。室長さんも昨年まで中学校の現場にいたと思うんですが、私は大宮中学校に参加させてもらいました。クラスマッチ形式で選手宣誓があったんですが、イメージとしてはクラスとか学年のまとまりとして団旗を用意したり、選手宣誓もその団旗の裾を持ってやるとか、応援の声を出すのも無いし、ただ手を挙げて集まって宣誓で、頑張るぞって言っても、子供たちの反応もちょっと弱いかな。そういったものは見直していきながら年間の計画をもう一度考えてもいいんじゃないかなって感想を持ちました。

小野教育長 運動会や体育祭の開催時期については橋本委員のおっしゃる通り、いろんな意見があるんじゃないかなと思います。今度校長会そして理事会があるので、その中でも一つ提案という形で話をしてみたいなと思っているんですが、先生方の中では、そろそろやってもいいかなという人もいるし、2年とか3年の短い期間しか学校に赴任しないので、来た年に変えることはまず難しい。次の年には何とかしようと思っても時間的に厳しかったりとか。あとはPTAの役員の方たちとの意見の調整がなかなか難しい。いろんな意味でコロナ禍の後の学校行事とか特別活動の扱ってというのは非常に難しくなっているなというのが正直な考えです。ただ、そこをちゃんとしないと。中学校生活が子供のためになるのかなど。確かに指導要領については問題は無いんですけども、人として育てていく上で大事なところが抜けるんじゃないかっていう気がするんですね。それと同時に、今までいろんな大変な思いをしてやってきた先生方の状況っていうのも考慮しなければならない。時間をかけてでも話し合いをしながら、どういう思いがあるのかっていうことを確認しなきゃならない時期に来たなという気はします。ありがとうございました。その他ございますか。宮本委員どうぞ。

宮本委員 橋本委員の先ほどの話で、私には大宮中を卒業した高校2年生と中学3年生がいるんですが、高校2年生の子のときと今の中学3年生の息子のときと、内容もだいぶ変わってきました。ただ、流れを見てみると、だいぶ生徒主体になってきた感じがしています。生徒会とか実行委員会を作って、生徒が考えてやっている感じがしました。盛り上がりに関しても、もっと「頑張ろう」みたいなのがあってもいいよねっていう話は保護者からも出たんですが、それはやっぱり学年の色にもよるかねって話も出ました。今年はあまり騒ぐような子たちでは無かったのかなんていう話も出たんですが。あと保護者から出たのは、平日木曜日の開催で、次の日休んだ方が多かったよねっていうこと。あれは金曜日の開催にならないのだろうか。もし木曜日に雨が降った場合の予備日として、金曜日にやり

たいから木曜日なのかねっていう理解もあるんですが、子供たちができれば休まず学校に行けるようになるといいよねというのが保護者の一番の願いで、必ず金曜日にやって欲しい、木曜日にやって欲しいとかそういうわけでは無くて、休む子が少なく、運動会の影響が少なく学校生活を過ごせばいいねっていう意見が保護者から出ていました。

小野教育長 橋本委員お願いします。

橋本委員 以前私も大宮中学校にいたことがあるんですけども、子供たちに投げかけると、子供たちってすごく賢いですよね。いろいろなことで先生方も騙して。これはいい意味、前向きの意味です。子供たちに任せておくとプラスアルファが出てくるんです。でもそれは、子供たちにもある程度時間と余裕がないと出せる場が無いんです。9月に中学校の多くはやっていたんですけども、そうすると夏休みに各クラスとかの準備を無理なく長い時間かけてすることができた。文化祭でもそうだったんですけども。終わった後に先生方と昔話をしたんですけど、あの頃の子供たちって賢かったよね。誰も知っている荒れている時期があったと思うんですけども、それでも子供たちはいろんなアイデアを出して賢かった。今も子供たちに投げかけて話をしているでしょう。でも深さ的なもので、子供たちがどれだけのアイデアを注ぎ込めるか、まとめる力をかけるかが、浅くなってしまっている。第二中は種目が毎年同じなんですよ。3年生は2年間の経験があるので、すごく上手に立ち回りますし、そういう種目もあったりする。そういう時間を子供たちに与えてあげたい。いろいろやらなきゃならないからと、ただ流してしまっている気がして、他の面でも同じになってしまわないかという不安がある。昔から中学生は子供たちがどんどんやっていくんですよ。

小野教育長 楠委員どうぞ。

楠委員 私は中学校の体育祭で校長先生と話をして、9月開催は気候が変わってきて暑くなって、子供たちもどんどん熱中症になって、もう駄目だと。自分の子供の

ときは10年以上前になりますけれど、その頃から天候がおかしくなっていて、比較的天候がいい春先に小学校の方が早めに移行しましたよね。中学校は多分そうした経緯があるのではないかなと思うんですが。校長先生も、忙しいんですよ。このあと修学旅行があって、橋本委員がおっしゃったように、雨が降ったときを考えると、やっぱり平日は水・木曜日みたいな話、総体が近いから週末は練習試合で、そうなるはどこに持っていくかみたいな。9月だと暑いし、9月末だと新人戦が入ってくる。学校で選ぶんでしょうけれど、5月開催でも暑い季節になってしまってどうなんだろうねという話もあるんですが、体育祭自体をクラスマッチみたいに導入するのか、それとも地域のもので一つの学校行事を見るのかで、考え方が違ってくると思うんです。山方中学校だと子供がどんどん動いていて、休む暇もなくて暑い中大変なんだなっていう感想ではありますね。体育祭自体もどうされるのかな。校長先生の考え方一つなのかなって話を聞いていて思いました。

阿部指導室長　私も橋本委員がおっしゃったように、昨年度まで中学校に勤務していて、中学校は団体戦だったことで、学校はみんなでやっていく意識を持って取り組んでいました。4月から3年生が主体的にスタートして5月だと大変と思うんですけれども、昨年度の後半からは2年生が主になってやると。宮本委員もおっしゃったんですけれども、生徒が主体で考えていくってということで、「勝ち」より「価値」を大事にした行事にしていこうってことで、生徒たちがすごく頑張っているのを、教師は一緒に応援していきたいなっていう思いで、昨年度も教師は取り組んでいたところがありました。行事の精選もあるんですが、いろんなことを生徒と考えながら、でも変な方向には行かないようにしながら、曜日もそうですが、学校の行事を見直していけるといいのかなって感じた次第です。

菊池委員　自主的主体的って考えから離れちゃうんですけれど、私は第二中を見させてもらって、第二中は土曜日の開催が続いているんですね。私は平日開催の第二

中が分からないので、他の学校の平日開催と比べるようですが、より多くの観客の中で演技ができるなって感じました。中学生の一生懸命に頑張っている姿を小学生が見に行くと、自分たちの入る中学校の雰囲気味わえる。今は平日に開催できなくなっているので、小中連携を考えたときに、何か他のところ。今年は明峰中は小学生を文化祭に招待するのかな。小中学校それぞれ先生が理解しているんじゃないかと、子供同士でも理解し合うような工夫をしなくちゃならないだろうなど感じていたんですけど、第二中は小さな子供たちが来たりして、これまで通り活動されていたなと感じました。

小野教育長　ありがとうございます。今の話を聞いて、二つ思ったことがあったんですが、一つは、これから小規模学校の運動会の形ってというのは、子供だけの競技は無理で半日も持たないところもあるって話を聞きますから、ひよっとすれば今度はPTAとか地域、昔の地区の運動会ですよ。それを学校行事と重ね合わせて、大人対子供の徒競走とか、同じ種目を大人と一緒にやるとか。玉入れとか縄跳び大会とか、大変でしょうけれど。そういう形が一つの案として出てくるんじゃないかなと。そういうことをやらないと。コミュニティスクールもこれから充実していくわけですから、そこがやっぱり一つの大きな転換期だろうなと思いました。

二つ目は、これを言うといつも怒られるんですけど、私は30年近く前に、小中学校で体育祭とかをやってきたんですけども、さっき橋本委員から賢かったって話がありましたけれど、何十年か前は、まず春に陸上をやって総体があつて、今度は夏は水泳とかもありましたけれど、体育祭をやってその後クラスマッチがあるんです。大体2日とか3日かけながらやって、体育祭は1日ですけど。負荷っていう観点からは、昔の中学生って今の何倍負荷がかかったんだろうなと。もちろん人数もいましたから、答えや考えを出し合ったり。学級旗も絵が上手い人が何日か教室に残って完成させちゃうわけです。披露して歓声を受けたりする

盛り上げ型っていうか。時間をかけるところをどう工夫していかなきゃいけないのか。子供たちからしたら、その時間を自分たちのために使えるっていうのは、これから先の未来に役立つことなんです。50分の授業で何ページ開けてっていうのも大事で、そのことから学ぶことも大事なんだけど、そういったものを総合して学校という生活の場の中で3年間自己実現を描き続けていく。そういう意識を持たないと。とにかくやればいいやと、もう無理、時間がないってなっていて、何のために学校があるんだっていう方向に行くんじゃないかなと思いました。校長先生方といろいろお話しする機会に、話題として委員さんたちからいただいた意見を踏まえてお話ししたいなと思います。

他に何かございますか。菊池委員どうぞ。

菊池委員 前回の定例会のときに、学校における校外活動の安全確保の徹底についてというのが4月7日に文科省から通知が発出されて、その危機管理マニュアルを見て、自分が勤めていた頃のことを思ったんですね。文科省で平成30年2月に危機管理マニュアル作成の手引きを各学校に出したんですけれど、私はちょうどその年が退職の年だったんです。平成29年度の退職で、NHKの朝ドラひよこの前半がやっていた時期ですけれど、自分で反省というか振り返って、学校でどのように作成していたかな、ちょっと見てみたいな、と思って探したんですけれど見つからないんですね。ホームページを見ますと、大宮中学校は学校いじめ防止基本方針や学校のコンプライアンス、盗撮も出ていますが、危機管理マニュアルはどこで学校のものを見つけられるのかなと思ったんです。これってホームページで載せられないのかなと。

小野教育長 指導室長お願いします。

阿部指導室長 先日の管理訪問で、山方小学校と山方中学校をお邪魔したのですが、各校で危機管理マニュアルのファイルを作成しておりまして、各校の実態に応じて、先ほどの盗撮とかもそうですけれども、水難事故とか、その学校で起こり

得るものに関しては、随時ファイリングをしてまとめている状況を確認しました。昨年自分がいた大宮中でも、危機管理マニュアルは職員室の見えるところに置いておいて、何かあったときに共有できたり、毎月の会議のときにこのことに関して研修しましょうということで行っていました。各校にファイルはありますので、どういうことやってるのかと教育委員訪問のときとかにお声掛けしていただくと学校で用意できるかと思えます。

菊池委員　私が思うのは、家に帰っても何かあれば見られる。家で仕事しては駄目なんでしょうけれども、校外活動を計画するときに振り返って、しっかりマニュアルを点検しながらということで、ホームページに載せてあると便利なのかな。ホームページを見ると、学校いじめ防止基本方針を大宮中学校は去年は3回見直したんだと。おそらく何か通知文が来たり、県の指導があったらその都度見直して、今年も既に令和8年度のもの載せています。教育委員会としても見直しを実施したって点検できるのかなっていう思いを持ったんですね。それでホームページに載せられないのかなと思った。那珂市とか水戸市でも載ってないんですね。学校いじめ防止基本方針とかコンプライアンスは載ってました。危機管理マニュアルは載ってないから、何か理由でもあるのかなと。ただ、全国的に調べたら載せてある学校もあるんです。今はスマホがあればどこでも参照できますからそういうメリットもあるし、一般の先生方、私達、教育委員会事務局の人たちが、この学校はどうなんだろうとチェックすることもできるかと思うので。また、学校いじめ防止基本方針は令和8年度に更新していない学校もあります。それもホームページにあればすぐに確認できるんですね。そうした面で検討してもらえればと提案しました。

もう一つは、5月22日に松本文科大臣が辺野古の私立高校の事故で、プログラムが政治的教育活動であると方針を出しまして、その後、4月7日に各学校に出した通知文についてフォローアップ調査を行うと文科大臣が言ったんですね。

各学校で点検や改訂等を行ったのかという調査。あと、設置者の方では学校から上がってきたものに対して、どのように学校に対して指導したのかとか。そのあたりの小中学校15校の実態はつかめていますか。

阿部指導室長 フォローアップ調査については申し訳ありませんが、これからだと思うんですけども。ただ、先ほど申し上げた山方小学校と山方中学校に訪問したときには、昨年度と危機管理マニュアルのどこが違っているのかっていうのは水戸教育事務所の管理主事と一緒に確認をいたしました。菊池委員がおっしゃったように、重大事件が続いている中で、どのように学校が取り組んでいくのかっていうのはこちらも把握していかなくちゃいけないことだと思いますので、今後きちんと調査をしていきたいと思います。

菊池委員 松本文科大臣は近いうちにと言ったんですよ。近いうちにとってことは、1か月2か月じゃないなど。もうすぐ文科省でまとめて県に、県から市に来るなど。通知文を改めて見直したら、船舶等が書いてあるんですね。おそらくそのあたりはマニュアルにあまり入っていないんじゃないかなって予想です。通知文の中にも海上輸送法に違反しないとか詳しく書いてあったので、そのあたりが反映されているかのフォローアップが入ってくるかもしれませんので、各学校に調査が来てからお願いというよりは、調査が来る前に現状はどうですかっていう形で、忙しくなる前に声かけしてもら方がいいのかなって感じがしました。

小野教育長 宮本委員どうぞ。

宮本委員 三つあります。部活が地域移行になってだいぶ回ってきていると思うんですが、これからどんどん暑くなってくるので、例えば熱中症の危険性がある日の活動はどうするのか、その連絡方法ですとか、指導者の救急とか怪我の対応についてはどのように案内が行っているのかなということが気になったのが1点。あと、義務教育施設適正配置についての議案が出て、保護者にアンケートが今いっていると思うんですが、そのアンケートの回答率がどれくらいあったのかな。6

月が締め切りだったと思うので、できるだけ多くの方の声を聞きたいなというのがあると思うので、ホーム&スクールでもう一度呼び掛けてもらえたらなって思ったのが1つ。あと子ども会なんですけど、地区の方に聞くと、子ども会が無くなっちゃったねとよく言われるんですが、大宮小学区で2年前から立ち上がったんですけど、それを知っている方が大宮地区の方にすごく少ないんですね。他の地区でも参考になる事例だと思うので、広報紙もだいぶ先まで企画が詰まっていると思うんですが、ぜひ広報紙で取り上げてもらって、大宮地区の子ども会が頑張っているよって。もっと盛り上がってほしいし、無くなっちゃった地区でも復活することができるよってお手本になるかなと思ったので、その提案です。

小野教育長　　ありがとうございました。まずは部活で文化スポーツ課長お願いします。

戸澤文化スポーツ課長　　緊急連絡網といいますか、その日の部活がどうなるかっていうのは、バンドというアプリで連絡を取り合っています。指導者に関しての危機管理につきましても、指導者を採用するときに、こういった場合にはこういうような手順で連絡をしてくださいと伝えてございます。

宮本委員　　これから暑くなっていく中で、例えば最高気温が何℃以上のときはやりませんとかは一律で決まっているんですか。それとも指導者の判断ですか。

橋本委員　　暑さ指数で出しているんですよね。気温とか湿度とかの指数ですよね。

宮本委員　　それも同じで。

戸澤文化スポーツ課長　　そうですね。地域クラブが始まってからだんだん温度が上がってきたときは中止になっていくんだろうと思います。

楠委員　　指導者の判断ということですね。

戸澤文化スポーツ課長　　そうですね。

小野教育長　　橋本委員どうぞ。

橋本委員　　部活動で、隣の常陸太田市の教育部長さんと話す機会があったんですけど、地域の部活動について、指導者が何人かいる中に、種目によって事務局から

中心の人が1人必ずその活動についているらしいです。指導者って水分補給とか休憩とかは一生懸命やるでしょうけれども、事件・事故が起きるのはどうしても熱が入ったときの確率が高いものですから、そういう点で冷静になる事務局の1人がいることで規制もできる。毎回いるのか、細かいところまでは分からないですけども、そういう人がいると聞きました。そうすると、かなり活動も安心面がいろんな意味で高くなってくるんじゃないのかなって気がしたんです。そういう立場の人でも指導の中にいると違うかな。私も孫の引率で早めに行って練習の様子を見たりしているんですけども、本市は指導者だけですね。

戸澤文化スポーツ課長 はい。

楠委員 ちょっと思ったんですけど、指導者の中には、AEDの講習とか救急救命講習とかの資格を持っている人を必ず入れるとか、そういう決まりは特には。

戸澤文化スポーツ課長 今のところは無い。

楠委員 無いけれども、年に何回か消防署とかでやっている講習を受けるように推奨するとか。

戸澤文化スポーツ課長 そうですね、その辺も考えていかなくちゃいけないかなと。

橋本委員 AEDを設置すればというのものもあるんですけど、ただAEDを現場に置いておくかっていうとそれも無いかもしれないですね。学校の場合は必ず設置してありますから身近にありますけれど、会場が変わった場合には、そういったものは無い場合が多いんじゃないかと思います。

小野教育長 2点目の適正配置のアンケートに関しては、ちゃんと呼びかけて、できるだけ高い回収率を示した方がいいよって話だったんですが、事務局で何かありますか。

小泉学校教育課長 アンケートについては区長さん、保護者の方それから教育関係者にアンケートを取らせていただいて、全体では約3,500人です。5月18日、先週の月曜日時点では全体で約800人。割合にすると二十数%です。お話の中

で保護者の方のアンケートの回収率を上げた方がいいということでございますので、ホーム&スクールの周知は検討した中で実施していきたいと考えております。

宮本委員　　お願いします。

小野教育長　　ありがとうございます。アンケートはあくまでアンケートなので、よく勘違いするんだけど、アンケートの結果が全ての適正配置の回答になるわけではなくて、そこから見出される課題を踏まえていくってということなので、アンケート自体が全てを網羅するための、100%これだけ答えてもらえばOKってものではないので、かなり難しいアンケートですが、よろしくお願ひしたいと思ひいます。

3つ目の子ども会に関して、生涯学習課長ありますか。

高橋生涯学習課長　　大宮小学校で1つ子ども会ができて、昨年度は市の子ども会の広報誌も作りまして、そちらでPRとか、作ってくださいっていう広報をしております。市の広報紙につきましても、企画政策課が主体ですので、子ども会として載せていただけるか協議しながら検討させていただきますので、ご理解のほどよろしくお願ひいたします。

小野教育長　　大宮小で立ち上げたというのは、地区無しの大宮全体。

高橋生涯学習課長　　地区で言うと南町。

宮本委員　　そうですね。南町が中心となって、どこの地区の子が入っても良いよっていう。

高橋生涯学習課長　　大宮小学校支部の中の1つ。

小野教育長　　子ども会としては新しい取り組みなので、こういう発展的な新しい子ども会という感じで広報紙に載せてもいいかもしれないですね。

宮本委員　　生涯学習課で子ども会の広報紙を年度末に作ったんですが、配られたのは保護者、あとは各お店とか施設に置いてあるっていう感じなので、地域の方たちは大宮小学区で子ども会が復活したのを知っている方がすごく少ないんです。な

ので大々的に頑張っているよとぜひ知ってほしいなっていう気持ちです。

高橋生涯学習課長 予算的なものもありまして、作るには作ったんですけど。

小野教育長 よろしくをお願いします。他にございますか。

橋本委員 子ども会の話が出たんですけども、教育委員会でも知っていてください。

今年は11月最後の土日に美和こどもまつりをやろうと思ったんですが、土曜日は青少年相談員の集まりが毎回あるので次の日にやろうと思ったら、鷺子地区が参加する大会が入っていたので、12月5日に地元のふれあいセンターでやる予定で進めています。主催としては子ども会育成会、青少年相談員や区長会とかがお金を出し合ってやろうとしています。

もう一点ですが、各家庭に広報紙とその他いろんなものが回ってきますよね。うちの地区でもそうなんですけれども、コミュニティスクールだったり奉仕作業とか、いろんな面で学校で取り組んでいる様子があると思うんです。そういったものは保護者にだけ流すんじゃなくて、一般の方にも目につくようにすると、協力してくれることが増えるんじゃないのって話をしたことがあるんです。そういった学校だよりのものを学区内に、定期的じゃなくても単発的に広報紙と一緒に配りたいんですけど、市から断られてしまうそうです。量が多すぎるということで。シルバー人材センターで全部分けているんですが。地域の方はそれしか見ないんですよね。ホームページ開いて見るのはほんの一部ですから。ところが断られてしまう。ただ、うちの地区では小瀬高校の広報紙は年に2～3回必ず回ってきます。御前山もそうですよね。おかしくないって。市立の小・中学校を断って、高校は断らない。全部回してくれと。部数によって予算的なものもあるんだみたいな。それは見直すべきじゃないのっていつも思っています。前も同じ話をこの会議でしたと思います。未だに変わっていないです。どういうものでしょうか。特に今度コミュニティスクールが増えてきましたので。これは検討ですからここで結論は出ませんので。

あと美和小学校では、来賓・保護者を含めて今回の運動会で胸のシールを受付でくれました。皆さん受付を通っていますよってという保安上の問題だと思うんですけど、ただすぐに剥がれてしまったりあったんですけど、そういうアイデアを出してくれたのがありました。

それと、事業なんですけれど、数年前に小学校の陸上記録会が無くなりましたよね。中学校でも先ほどの行事予定も中央地区の大会で、郡市の大会はもう無くなっていると思います。郡市の大会は得点制度で総合優勝まで決めてやっていた種目です。その中で上位6人ぐらいずつが中央に選ばれるって段階的に上がっていたのですが、今は中央地区はオープン参加です。そうしますと、先ほどの事業と体育祭等があったときに、オープン参加の陸上で練習を学校でどれだけしてどれだけのエントリーが中央地区にあるのか。小学校でも陸上が無くなっているんですね。ということは陸上で各校1人とか2人くらいは県までいける子が結構いるんですよ。団体種目ではなかなか人数が少なかったり出られなかったりですけど、個人種目ならばっていう可能性も。そういう子の芽も摘んでしまっはいないかな。全てが事業の見直しの部分になる気がしています。これは今後の検討ですけど。以上です。

小野教育長 ありがとうございます。その他ございますか。

無いようですので、続きまして、「日程5 次回の定例会日程について」事務局からお願いします。

小泉学校教育課長 (6月定例会について日程調整)

小野教育長 ありがとうございます。

それでは、次回定例会は、令和8年6月25日 木曜日、午前10時より開催することにいたします。

以上をもちまして、常陸大宮市教育委員会 5月定例会を閉会いたします。

(閉会：午前11時36分)